

平成 27 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

| | | | | | |
|-------------------|--|-----------------------|----------|----------|---------------|
| 会計 | 款 | 項 | 目 | 事業コード | 事業名 |
| 一般 | 02 | 01 | 16 | 0403 | 賢治のまちづくり推進事業費 |
| 総合計画 | 分野 | 人づくり | | | |
| | 政策 | 3-5 | 芸術文化の振興 | | |
| | 施策 | 2 | 先人の顕彰 | | |
| 目的 | 花巻の強みである賢治を生かしたまちづくりを推進することにより、賢治への理解を深め、芸術文化の振興を図る。 | | | | |
| 対象 | 市民 | | | | |
| 意図 | 市民が花巻を代表する先人である宮沢賢治について、より理解を深め、地域の歴史や文化に誇りを持つ | | | | |
| 事業概要 | …上記目的を実現するための事業手法を記載すること | | | | |
| ○賢治を学ぶ場づくり | ・市民講座として賢治セミナーを実施。全10回開催。 | | | | |
| 市民参画の有無 | 〔対象外〕 | | | | |
| 市民協働の形態 | 共催 | 実行委員会・協議会 | | 事業協力・協定 | |
| | 後援・協賛 | 補助・助成 | | 委託 | |
| 活動指標（上記「事業概要」に対応） | 単位 | 区分 | 26年度(実績) | 27年度(実績) | 28年度(計画) |
| ① 賢治セミナー開催回数 | 回 | 計画 | 10 | 10 | 6 |
| | | 実績 | 10 | 10 | |
| ② | | 計画 | | | |
| | | 実績 | | | |
| ③ | | 計画 | | | |
| | | 実績 | | | |
| 成果指標（上記「意図」に対応） | 単位 | 区分 | 26年度(実績) | 27年度(実績) | 28年度(計画) |
| ① 賢治セミナー延べ参加者数 | 人 | 目標 | 400 | 400 | 400 |
| | | 実績 | 353 | 323 | |
| ② | | 目標 | | | |
| | | 実績 | | | |
| ③ | | 目標 | | | |
| | | 実績 | | | |
| 成果指標の達成度 | 目標値より高い | <input type="radio"/> | 概ね目標値どおり | | 目標値より低い |

| | |
|--|--|
| 成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載) | |
| 【H27成果指標の設定根拠】 ・前年度の受講生の意見（アンケート・ワークショップ）や、今年度のプログラム案への意見を関係団体から聴取した結果、充実したプログラムとなり、多くの受講生が継続的に参加している。 ・目標値の根拠 40人/回（H25賢治セミナーの1回あたりの参加者で最少の人数）×10回 | |
| 目的妥当性 | 公共関与の妥当性 <input type="radio"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 妥当でない ・賢治を知り、賢治について「語る市民」を育むことで、市が目指す「賢治の香りあふれるまち」づくりにつながることから、公共関与は妥当である。 |
| 有効性 | 成果の向上余地 <input type="radio"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない ・受講生の意見や関係団体との連携を深め、より充実したプログラムを設定することで、成果の向上が期待できる。 |
| 効率性 | 事業費・人件費の削減余地 <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある <input type="radio"/> どちらも削減余地がない ・必要な経費は講師謝礼、委託料、消耗品等で必要最小限であるため削減余地はない。 |
| 公平性 | 受益と負担の適正化余地 <input type="checkbox"/> 受益機会の見直し余地がある <input type="checkbox"/> 費用負担の見直し余地がある <input type="radio"/> 適正である ・受益者は、特定の市民でないことから受益機会は均等である。 |
| 総合評価 …上記評価結果の総括 | |
| ・「賢治さんの香りあふれるまち」の実現のため、市民講座「はなまき賢治セミナー」を開催し、郷土の先人「宮沢賢治」についての市民の理解を深めた。 ・H28年度は、初心者向けコースと中・上級者向けコースに分けて開催し、受講者の賢治さんについての理解度に合わせた講座としたい。 | |

平成 27 年度 事業説明資料 【 事後評価 】

担当部署 部名 生涯学習部 課名 生涯学習課 担当係長 上野 剛 内線 401

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

| | | | | | |
|----|----|----|----|-------|---------------|
| 会計 | 款 | 項 | 目 | 事業コード | 事業名 |
| 一般 | 02 | 01 | 16 | 0403 | 賢治のまちづくり推進事業費 |

単位：千円

| | | | | | |
|------|------|----------------|----------------|---------------|-----------------|
| | | 26年度 決算額(A) | 27年度 決算額(B) | 28年度 現計予算額 | 決算額前年比 (B-A) |
| 事業費 | | 115 | 85 | | △ 30 |
| 財源内訳 | 国・県 | | 42 | | 42 |
| | 地方債 | | | | |
| | その他 | | | | |
| | 一般財源 | 115 | 43 | | △ 72 |

| | | | |
|------|---------|------|-----------------|
| 事業期間 | ○ 単年度繰返 | 期間限定 | [平成 年度 ~ 平成 年度] |
|------|---------|------|-----------------|

部重点施策における目標
生涯学習の推進に努めます。

事業開始の背景・経緯
賢治のまちづくり委員会の中間報告書での提言による。これまでは、賢治に特化した市民講座が無かった。

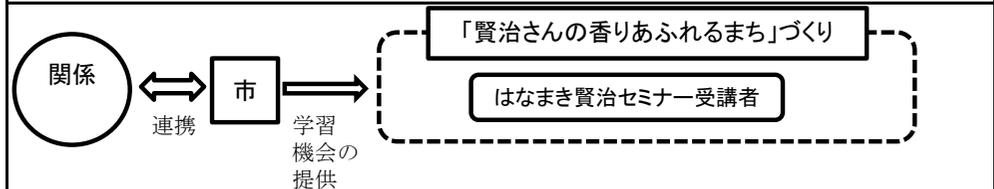
事業概要
○賢治を学ぶ場づくり
・市民講座として賢治セミナーを実施。全10回開催。

事業を展開する上での課題、留意事項 / 意見・要望等

・平成27年度で実施4年目を迎えたが、年度を増すごとに内容が高度になるのではなく、賢治さんを学ぶきっかけづくり・入り口であり続けるように留意する。

(単位：千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】



○賢治セミナーの開催 85千円

- ・報償費 62千円 (セミナー講師謝礼)
- ・需要費 16千円 (消耗品14、観光ボランティアガイド昼食代2)
- ・役務費 7千円 (受講生連絡用切手代)

《目的》

「賢治のまちづくり (賢治さんの香りあふれるまち)」に取組むため、市民講座「はなまき賢治セミナー」を開設し、郷土の先人「宮沢賢治」について理解を深め、「賢治さんを語れる市民」を育む機会とします。

《協力》 賢治のまちづくり委員会

《定員・対象者》 70名

《開設期間》 平成27年5月から平成28年2月まで

参考①：平成27年度の事業内容・実績

| No. | 期日 | 内容 | 講師 |
|-----|-------|---|---------------------|
| 1 | 5/25 | 宮沢賢治記念館見学「宮沢賢治と祖父 清六」 | 榊林風舎 宮沢 和樹 氏 |
| 2 | 6/29 | 宮沢賢治の生涯 | 宮沢賢治記念館 副館長 牛崎 敏哉氏 |
| 3 | 7/18 | 世代を超えて賢治さんを楽しむ | 星鴎 宮 |
| 4 | 8/31 | 賢治のまちづくりってなあに | 賢治まちづくり課長 佐藤 正真氏 |
| 5 | 9/22 | 宮沢賢治賞・イーハトーブ賞贈呈式 | 受賞者等 |
| 6 | 10/5 | フィールドワーク (賢治でめぐる花巻) | 花巻観光ボランティアガイド |
| 7 | 11/30 | 未来につなぐ宮沢賢治 | 宮沢賢治記念館 上席主任 宮澤 明裕氏 |
| 8 | 12/14 | 賢治で街に活力を!!花巻黒ぶどう牛の取り組み | 花巻・賢治を読む会、黒ぶどう牛研究会 |
| 9 | 1/18 | 受講生企画講座 (宮沢賢治生誕120周年に寄り添って ~120周年の今日的意義~) | 吉見 正信 氏 |
| 10 | 2/22 | ワールドカフェ (花巻から発信!!賢治のまちづくり) | 生涯学習交流課職員 |

参考②：参加者実績等

平成25年度 実参加者数70人、 延参加者数453人
平成26年度 実参加者数63人、 延参加者数353人
平成27年度 実参加者数47人、 延参加者数323人